



発行所  
 カトリック福江教会  
 広報委員会  
 五島市末広町 3-6  
 ☎ 0959 (72) 3957  
 ●ホームページ●  
<http://fukuechurch.jimdo.com>

# 韓国巡礼 (最終)

主任司祭 中村 満

韓国巡礼、五日目。李さんの知人が車を出してく



①

れ、ソウル近郊のヤングン殉教地、巡礼地を訪ねた。川縁で処刑された福者殉教者たちを顕彰する記念教会

(写真①) が建立され、近くの広場には記念のモニュメントもあった。その後、巡礼地として近年整備した聖人の金大建(キムデゴン)神父の家族が生活していた所にあるヤングン教会と記念館を訪れた。キム神父は上海で叙階されたが、その教会の図面が残ってお



②

り、その通りに復元している(写真②)。聖人への感謝の心を垣間見た。昼食後、福者に列せられた人達の墓があるオノンの聖地を訪れ、その後、ヨジュの殉教地などを巡り、ソウルに戻る途中、時間があつたので、世界遺産になっているセジョン大王の陵(写真③)を訪れ、しばし散策。夕刻、食事を摂り、早めに就寝。



④



③

六日目。今日は全州への車での日帰り巡礼。高速道路を使っても3時間以上はかかる。全州

は日本でいえば京都のような古都。韓国王朝創始者イソングの本家がある。最初にカテドラル(写真④)を訪ね、しばし祈る。昼食は私の所望でビビンバ(写真⑤)。全州に來たら食べないといけない。



⑤



⑥

ンバの発祥の地だから。元祖だけあつて、さすがに美味しかった。食後、近くの川縁にあるチョウウ父子の殉教地と記念碑(写真⑥)を訪ねた。父子ともに列聖されている。その後、郊外にある福者たちの「柳家」、「童貞夫婦」の実家跡を訪ねた。この家族は父と息子二名、嫁、兄の子の五名が福者に列せられている。実家は迫害の時、痕跡が残らないように徹底的に破壊され、小さな池(写真⑦)にされた。今、周囲には信徒はなく、こじんまりとした巡礼地となつていますが、今回訪れてみると、巡礼者たちのための百坪程の休憩所が造られていて、今後は記念教会を建てるように準備しているという。何度か訪れたことがあつたが、先人達を顕彰



⑦

し、巡礼地にするその熱意には感じ入った。家族の埋葬地は全州の中心街が一望できる「致命者山」という高い山にある



⑧

が、何時も多くの巡礼者たちが訪れている。その後、ナバウイの教会を訪ねた。パリミツシヨンの神父が中心になって建てたレンガ造りの教会(写真⑧)で、国の重要文化財になつている。教会を後に、最後に金大建神父が一八四五年十月、韓国に密かに入国するとき最初に居を定めたナバウイにある家を見に行った。その家は人手に渡っているが、案内してくれた人は、今後買い取りたいと言っていた。今回の韓国巡礼は先に列福された一三四名の福者たちを訪ねてのものだったが、一〇三名の聖人を含め、韓国の殉教の歴史とその時代は、概ね日本の江戸後期とも重なつていて非常に意義深い巡礼体験ができる。機会を見つけて、また行ってみたいと思う。

# 聖母祭 & 夜市 !!

## 2017

8 月 13 日 in 福江教会



8 月 13 日 (日) 午後 5 時半より恒例の聖母祭・夜市が福江教会前広場で開催された。今年は、北部九州豪雨災害の被災者へのチャリティを兼ねて行われた。

お盆の時期でもあり、来客数が少ないのではと心配していたがうれしい誤算。時折かかる薄雲が酷暑を和らげる中、昨年を大きく上回る来客で教会前広場が埋め尽くされた。教区外、島外の方も多く見受けられ、各出店も大盛況で早々に売り切れて、店じまいする屋台も出るほどであった。

毎年盛り上がる抽選会も、今年は例年以上に豪華な景品も見られ、司会の楽しいトークも相まって会場は笑いとお歓声に包まれた。

祭りの準備や片づけに参加して下さった信徒の方々、シスター、神父様、バザーや景品に物品を提供して下さいました。毎年の聖母祭・夜市は信徒の皆さんの参加、協力が無いと続けていきません。今後ともよろしくお祈りします！



今年の「神父様の店」は福江教会オリジナル焼印入りの瓦煎餅！

## ハウスオブジョイ (歓びの家を支える会) とは…

フィリピンのダバオオリエンタルに 1997 年 8 月に創立された養護施設で、代表は長崎県出身のカトリック信者である烏山逸雄氏。親がいない子、虐待などに苦しむ子、貧しくて学校に通えないなど様々な理由の子どもたちを引き取り「愛」の教育を理念に養育している。この施設を支えていくための資金の支援の呼びかけと、手続き等を行っている会です。



(facebookより引用)

活動報告と事務局移転のお知らせ  
いつもハウスオブジョイ (歓びの家を支える会) をご支援していただきまして有難うございます。募金の報告をさせていただきます。現在 3 名の方に毎月ご支援頂いております。近年では、無記名の方のご支援もありお陰さまで 26 年度 83,559 円 27 年度 129,520 円 28 年度 149,477 円を送金する事が出来ました。ご協力本当に有難うございました。現在ハウスオブジョイでは 17 名の子どもたちが元気に生活しています。創立者の烏山さんは病気のために両足の切断を余

## ハウスオブジョイ

儀なくされ、なかなか帰国できなくなりましてが、ご支援に心から感謝しいつも福江教会のみならず、ご祈りをしているそうです。

また、今年度から事務局が福江教会から東京に移転いたしました。そのため福江教会での募金の手続きは休止させていただきます。今後は東京の事務局が引き続き行う予定です。これまでご支援して下さいました方、新たにご支援して下さる方で詳しいことが知りたい方は、ホームページ「歓びの家」をご覧ください。

(ハウスオブジョイ事務局)

(中村)

# 小学生黙想会

七月二四日(月)に下五島地区小学生合同黙想会が行われた。今回は「ウケツゴウ―神さまの教えを守った人たちにならって―」をテーマに、水の浦教会から楠原牢まで殉教を覚悟した私たちの先祖が歩いた同じ道を徒歩巡礼するという企画。一年生から六年生まで、頑張って険しい山道を歩きぬき、全員無事に楠原牢までたどり着くことが出来た。昼食をはさんで、感想文を書き、楠原教会での「ありがとうミサ」のなかでパンとブドウ酒と共に捧げました。実際に自分の足



山道を上る。



巡礼に出発!



感謝のミサ



楠原牢にて

で、だどり、先人たちの気持ちを感じて心を動かした体験型の黙想会は、子どもたちの夏休みの始まりに相応しく、祝福の内に充実した一日となったようだ。準備や当日の参加など炎天下にも関わらずご協力くださいました保護者・委員会のみなさま、この場をお借りしてお礼申し上げます。(黙想会の様子は正面玄関掲示板に教会学校通信 vol.3、として掲載予定です。)

## (黙想会の感想文)

### ○1年 谷川きさら

いっぱあるいてつかれてきました。でもたのしかったです。やっとなつてよかったですとおもいます。ぬかされたけどすぐにおいつきました。おちゃをのんでげんきになりました。むかしのひとはがんばったとおもいます。

### ○2年 ま鳥さえ子

わたしは水のうら教会から、くすはらろうやあとまで山のぼりをしたのがとてもきつかったです。むかしの人はもっと、もっときつかったと思います。ろうやに入れられてもかみさまをしんじつづけたのがとてもいいとおもいました。わたしもみならって、かみさまをしんじつづけたんです。

### ○3年 西津奈那

もくそう会は、きつかったけどわたしがいしかなかったことが分って「そうなんだ」と思いました。これからも教会でのべんきょうもしんけんにしたいと思えます。とても楽しくもくそう会になりました。またもくそう会がしたいです。分らないことがなくなるまで、べんきょうしたいと思えます。

### ○4年 佐藤剣四朗

ぼくは今回きちょうな体験をできてとてもよかったですと思いました。

ぼくは、山をのぼったりくだったりしている時にこけそうになったのでちょっとこわかったです。だけど楽しかったです。スイカもあまくてとてもおいしかったです。上りがとてもきつかったです。もう一回のぼりざかとくだりの道を歩きたいです。今日のもくそう会は、いろんな体験ができてとてもたのしかったです。

### ○5年 西津陽向

山をのぼったりくだったりしてたのしかった。道がたがたでこけそうになったり、道にまよってたいへんだったけどたのしかった。ほかにスイカを切ったりたべたりしておいしかった。じいちゃん、ばあちゃんありがとう。

### ○6年 下崎将太郎

昔の人は、もっとまじく体力がなかったと思うので、現在のぼくたちでさえきつかったのに、昔の人はもっときつかったと思った。くす原牢屋跡では、牢屋に入れられた人の名前が書いてあって、これらの人がごうもんをうけたことを知って、ぼくならたえきれないと思いましたが、ぼくはたえきれないと思うほど、神様への思いが足りないのです、これから、神様への思いがもっと強くなるようにじしややおいのりをがんばりたいです。

# 教会内外・墓地清掃

八月六日(日)二番ミサ後に、教会内外の掃除と午後一時半から墓地の清掃が行われた。その日は、台風接近で天気心配されたが、真夏の太陽が照りつける中、教会の周りの木の剪定や普段掃除では出来ない溝掃除などを念入りにした。

教会の中は水主町地区の担当で、少ない人数で大変だったが無事に終わらせることが出来た。

また、午後からの墓地清掃は気温も太陽の日差しも増す中、大きくなった木を切ったり、墓地の周りの草刈りなど一時間半をかけて行われた。

しかし、参加される方が少ない事と、若い方が少ない事が心配になった。そんな中、シスターの皆さんの参加は有り難く、感謝致します。



## 侍者紹介

現在、福江教会では十四名の子どもたちが、侍者として教会奉仕に励んでくれています。月曜から金曜の朝六時に眠い目をこすりながら、ほとんど欠かすことなく侍者として御ミサに参加してくれています。この現状は、決してあたり前のことではなく、神さまからの大きなお恵みであると思っています。改めてこの場をかりて、侍者の子どもたちはもちろん、快く協力してくださる御家族にも心より感謝申し上げます。今後ますます、社会の中で福江教会が積極的に神のみ旨を果たしていくことができるよう、侍者の子どもたちのように、私たちも何らかの形でもっと教会のために奉仕していきましょうと思います。

## ロザリオ実演販売開催!



当教会信徒の広報委員でロザリオ職人の本山孝雄さんが、

来る9月6日〜12日まで長崎浜屋百貨店で開催される『第25回秋の県産品まつり』にてロザリオの実演販売を行うことになりました。

長崎初出店ということですので、期間中、長崎に行かれた際は是非お立ち寄りください!



◆日曜日他  
(左上から) 中尾 誠・西津 陽向・小畑 萌心  
(左下から) 中尾 露唯・入口 正大・岩下 聖来



◆金曜日  
濱口 海人 (右)  
濱口 楓人



堀 悠太



◆水曜日  
下崎 将太郎



松本 鈴



◆木曜日  
西津 陽向・西津 美陽



◆火曜日  
柿山 綺奈・熊川千絵美

## 《寄付・香典返し》御礼

- 中村 真弓様
  - 故トマス 中村 よしお様
  - 清川 紀子様
  - 故ヨハネ 清川 進様
  - 中島 一男様
  - 故マリア 鹿山 マツエ様
  - 大川 君代様
  - 故ミカエル 大川 勉様
- 右記の方々から、寄付及び香典返しとしてご芳志を賜りました。ご報告申し上げますと共に、故人の永遠の安息を心からお祈り申し上げます。

## 今後の日程

●9月10日(日)  
下五島地区スポーツ大会  
(ゲートボール・ペタンク)  
場所：大津みなと公園  
時間：午前10時より開会式

●9月17日(日)  
聖ミカエル中村神父様  
霊名のお祝い式  
時間：二番ミサ後

●敬老者祝賀会  
時間：二番ミサ後  
場所：信徒会館  
(中村神父様の霊名のお祝いと一緒にいきます。)